

7. 宿と食事とトイレ

ア. 宿の予約

宿の確保は、食べること、お風呂、洗濯、トイレなど明日の活力の全てにかかわる最重要項目だ。善根宿や通夜堂では十分な休養はとれず必ず宿に泊まることにした。

空きがあれば当日でも泊まれるので着いてから宿を探す人もいれば、40日近い全行程を予約しているお遍路もいた。宿が不確定では落ち着かなく、私は早め早めに行程を見直しながら、3~5日先の数日分をまとめて予約した。

都市部や観光地など宿の多いところは心配ないが、便利なところや一軒宿、宿泊人数の少ない宿は早めに予約しないと満室になる。また廃業や休業中の宿もたくさんあった。

「歩き遍路ですが宿の予約をお願いします。 月 日で男1名です。」と電話。宿では日付を確認し、名前(ほとんど苗字だけ)と連絡先の電話番号(携帯の番号を)を聞かれた。

連絡なしのキャンセルも多らしく、前泊地を聞かれたり、前日にもう一度電話をくれというところも数軒あった。私は到着予定時間を伝え、朝食時間や料金を確認した。

イ. 宿の分類

宿には大別して5種類、泊まった宿の施設・料金・料理・洗濯などをまとめたが、あくまでも自分の限られた体験によるものであることをお断りしておく。

宿 坊	最御崎寺 金剛福寺	講などの団体客が中心。浴室や食堂も広く個室も8~10畳と広く施設はどこも充実していた。料理も値段のわりにおいしかった。朝の勤行の参加は自由だし、団体客でにぎやかだが料金も6000円未満で安かった。ぜひお勧めしたい。 料金は前払い。団体客が着く前、16時には着けば風呂・洗濯をゆっくりとできた。トイレは共同だがテレビもあるしお酒もOKだ、宿帳記入。夕食時間18時、朝食6~6時半。
遍路宿	民宿森本旅館 民宿金子や 民宿山茶花 民宿あずま 山本旅館 民宿みちしお 民宿嶋屋	民宿や旅館は遍路客だけではなく観光やビジネス客も泊まれるが、ここでは遍路宿というのは昔からある遍路のための宿と捉えた。 またホテルの名称だが実際は民宿と変わらないところやドライブインと兼営している宿も多かった。団体客も泊まれる大きな宿もあるが、夫婦やおかみさん中心のこじんまりした宿が多かった。またそんな区分に入らない会社の保養所なべいわ荘などもあった。 施設はどこも年季が入っていたが掃除は行き届いていた。風呂は規模によって3~4人入れ

	民宿安宿 民宿高知屋 ホテル三陽荘 山代屋旅館 旅館・民宿長珍屋 ビジネスホテル来島 栄屋旅館 ビジネス旅館小松 民宿岡田 あずまや旅館	<p>る風呂から家庭風呂と同じものもあるが、どこも順番に1人づつ声をかけてくれた。トイレと洗面は共同、トイレは和式が多いが、数ヶ所トイレがある宿は1ヶ所は洋式があった。</p> <p>浴衣・歯ブラシ・タオルなどは置いてあるところが多く、部屋の片隅には布団がたたんである。</p> <p>洗濯機は常備していたが乾燥機は無い宿もあった。宿泊料は6000円～6500円で朝食後に支払うが、早発ちなどの場合は前日に精算した。</p> <p>鍵のかかる部屋が多いが、隣室や廊下とふすま戸やガラス戸で仕切られ施錠できない宿もあった。夕食は18時で、朝食は6時が通常。食堂で食卓を囲んで食べる和気藹々した雰囲気よかった。</p>
旅館	福屋旅館 佐賀温泉 松屋旅館 新町荘本店 旅館水郷 蔦廻屋旅館 魚勘旅館	<p>ビジネス客も泊れる街中にあり、宴会場以外の施設は民宿と大差ない。部屋食で食事内容は値段の高い分、民宿より品数は豊富だった。夕食は18時だが朝食は7時から7時半だった。</p> <p>布団の上げ下げはしてくれた。料金は7500～8000円ぐらいが標準で、朝食時間が遅く料金が高いのでどこも遍路客は少なかった。</p> <p>なお佐賀温泉は国道沿いのドライブイン兼の天然温泉で、また旅館水郷は遍路道から大きく離れた三津浜港にあり事情が異なる。</p> <p>民宿や旅館はあたたかい夕食と朝食がきちんと食べられるのがなによりだ。宿帳はノートや所定の用紙にチェックイン時や食事時間中の回覧など様々だったが、この24軒の中で宿帳の記入のない宿が5軒あった。</p>
公共施設	徳島厚生年金会館 (ウエルシティ徳島) 国民宿舎海風荘 高知共済会館 広田村研修の宿 国民宿舎古岩屋荘 坂出簡保保養センター 高松厚生年金会館 (ウエルシティ高松) 町営白鳥温泉	<p>厚生年金会館や共済会館はバス・トイレ付の洋室でレストランがありホテルと全く同じ、料金的にも高くなく厚生年金会館は年金受給者には割引があった。国民宿舎や簡保保養センターは景勝地にあり、白鳥温泉同様温泉大浴場付だった。</p> <p>一泊二食付7000～7500円前後で朝食は7時以降。素泊まりも可能でお遍路さんは朝食時間が遅いため朝食なし夕食のみが多かった。</p> <p>古岩屋荘、坂出簡保保養センター、白鳥温泉は場所柄お遍路が多くコインランドリーが完備していた。</p> <p>フロントにてチェックイン時に宿帳記入。</p>
	セントラルホテル鴨島	シティホテルから民宿のようなホテルまで、料金も素泊まり3700円～6000円まであり千差

ビジネスホテル	リゾートイン入野西洋館 宇和島リージェントホテル ビジネスホテル観音寺 ビジネスホテルサクマ	万別だった。 食事の用意をして宿泊だけならば、食事や風呂の気兼ねもなく、遅く着いてもいいし朝早く出られるので便利だ。ただ洗濯機がなく風呂で洗って部屋に干した。フロントにてチェックイン時に宿帳記入。
---------	---	---

ウ、宿での過ごし方

着くとまずお風呂と洗濯機と朝食時間を確認、時間によっては朝食抜きで早出しなければならない時もある。自宅との連絡、携帯電話とデジカメの充電。お風呂は着いた順で声をかけてくれ、風呂からあがるとすぐマメの手当だ。

この間、洗濯機の空きをみて洗濯をする。歩数と距離や今日の出来事をメモし、地図で今日歩いた道や明日の予定をみながら夕食を待った。

とある宿で隣に座ったご夫婦が宿のお茶をペットボトルに入れていくと良いと教わった。自販機のないところ、暑くて1日に何本も飲む日もあり、確実に150円節約できるのでお勧めしたい。

新聞は43日間ほとんど読まなかったが、天気予報とニュースは必ずみた。デジカメの画像の整理と明日の準備(納札の記名、10円玉などを確認してから、宿備付けの「遍路ノート」や「遍路紀行文」、「地元の情報誌」を読んだりテレビをみながら、眠くなったら「おやすみなさい」だった。

朝は5時には目が覚めた。洗面のあとはトイレだが個室の数が少なく、これだけは先手必勝だ。外に出たら、道の駅か公園のトイレかコンビニか、または民家や商店のトイレを借りる以外ないが、遍路道を歩く分にはこれらも無いと考えた方がよい。朝食後は皆あつという間に出発した。

杖を置き忘れ、1時間かけ戻ったお遍路がいたが4~5キロの口スは大きい。忘れものが無いよう細心の注意を払った。

エ、洗濯について

少しでも軽くするため衣類を最小限にする以上毎日の洗濯はかせなかつた。

シャツ・パンツ・靴下・タオル・手ぬぐいや白衣は汗でびしょりになり毎日洗濯し、ズボン・ベスト・長袖シャツ・手袋等は適時行った。

洗濯機の料金は洗剤も用意されご自由にお使い下さいという宿、洗濯機・乾燥機ともしっかりと100玉を何枚か使う宿、洗剤も有料など様々だった。洗濯代も馬鹿にならなかつた。

乾燥機は1時間かかるので順番待ちが長いと夕食以降になることもあった。宿に着き洗濯が終わると落ち着いた。こっそりと風呂場で洗ったこともあったし、ビジネスホテルではバスタブで洗い、室内と狭きにぶらさげた。

オ、昼食について

道中落ち着いて昼食を食べたことはなかつた。へんろ道には食事する処はなく、食堂やコンビニは車の通る国道沿いに移っていた。最初の頃

は疲れすぎて余り食欲もなく、ママが痛くて一旦足を止めると歩き始めが猛烈に痛いので少しでも早く着きたいと食事時間も惜しんで歩いた。歩き遍路の要領もわかり、足に自信がつき毎日の行程も読めるようになった中盤以降は、食事はキチンと食べ、コンビニで食料も忘れずに買いこんだ。なおカロリーメイトは非常食として常備したほうがいい。